

## 研究テーマ 慢性疼痛モデルマウスを用いた鎮痛薬の薬理的評価

所属 工学部

准教授 高崎 一郎

<https://researchmap.jp/read0131924>

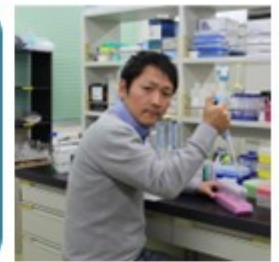
研究分野	神経化学・神経薬理学 疼痛学 生物系薬学
キーワード	中枢・末梢神経薬理学,神経創薬,薬理学

研究室URL : <http://www3.u-toyama.ac.jp/yakuri/index.html>

## 研究の背景および目的

神経障害性疼痛や偏頭痛に対して、現在のところ副作用が少なく、疼痛に有効な鎮痛薬はほとんどありません。また痛みが続くことにより、QOLが低下し、情動面にも大きな影響をおよぼします。

当研究室では、主にマウスを用いて、種々の慢性疼痛モデルを作製し、痛みが慢性化するメカニズムの解明と、痛みによる情動変化のメカニズム解明、新しい慢性疼痛治療薬の開発に取り組んでいます。



## ■ 主な研究内容



## 期待される効果・応用分野

- ・実験動物を用いた行動薬理的評価「痛い!」と言わないマウスでどのように「痛み」を検出するのか、鎮痛薬をどのように評価するのか?情動の変化をどのように検出するのか?
- ・疼痛モデルマウスの作製と薬物評価
- ・行動薬理学, 細胞薬理学, 分子生物学, 遺伝子工学, 細胞生物学など様々な研究手法による多方面からの研究アプローチ

## ■ 共同研究・特許など

- ・疼痛動物モデルマウスの作製と薬効の評価  
(坐骨神経結紮モデル, 帯状疱疹痛・帯状疱疹後神経痛モデル, 化学療法誘発神経障害モデル, 癌性疼痛モデル, 偏頭痛モデルなど)
- ・ビデオトラッキングシステムを用いた情動行動の検出

富山大学研究者プロフィールPure URL :